
僕の中の思想家たち

沢野 梅太子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の中の思想家たち

【Nコード】

N2576U

【作者名】

沢野 梅太子

【あらすじ】

受験生の河野隆太が何気なく窓の外を眺めていると、突然男の人の声が聞こえてきた。その声の正体は・・・？
怠け癖のある主人公の隆太と思想家のへんてこな物語。

01 現れぬ正体

これは、僕の中に定住している、思想家たちのお話。

僕、河野^{かわの} 隆太^{こうた}は中学3年生、受験生活真っ只中にも関わらず、教室の窓からずっと空を見上げていた。

今日は7月15日、季節は夏。校庭のセミたちが、大きな声でなきながら、残り少ない命を精一杯生きていた。ちなみに僕の席は、窓側の席の後ろから3番目。微妙な位置だが、一人で外を眺めるには絶好のポジションだった。

僕が空を見上げ、できたての飛行機雲をぼーっと眺めていた時に、どこからか男の人の声が聞こえた。

「おい、ちゃんと授業聞かなくていいのか？お前、この間担任にこのままじゃ志望校やばいかもって言われてただろ。」

今は授業中なのだ。それにも関わらず、その声は僕の教室の窓の向こうの、薄汚れたベランダのほうから聞こえてきた。

最初は空耳だと思った。だって、今は授業中なのだ。ベランダに人がいるわけがない。そもそも僕がずっとベランダ側を向いて外を見ていたんだ。気付かないわけがない。それにも関わらず、その声は誰もいるはずのないベランダから聞こえたのだ。

僕は、先生の目を盗んで、窓の外の様子をうかがってみた。が、しかし、誰もいない。まあ、いないのが普通だが……。でも確かに聞こえたのだ。僕を呼ぶ声が。もう少しだけ、身を乗り出して様子を見ようとしたとき、

「河野っ！！お前、人が説明してんのに、さっきから何やってんだ！！ここは来週の小テストに出すから良く聞いとけって言ってるんだろ！！！！！！」

つという、国語科のトマトじじい（本名は三苦^{みつま} 雄一^{ゆういち}、47歳、いつも顔を赤くして生徒を起こっている様子から「トマト」という名称がついたようだ）が、これまた顔を真っ赤にして怒っていた。

これ以上怒らせると後が面倒なので、とりあえず僕は素直に謝っておいた。

それに、今はトマト何かに構っている暇はない。

窓の外から聞こえる声の正体がなんなのかを突き止めることが最優先事項なのだ。

先ほどから、窓の外が気になって気になって仕方がない。いくら注意されたとはいえ、気になっているものは仕方ないのだ。ああ、外が気になる。外が気になる。外が気になる。

横目で窓の外を気にしながら、トマトに再び注意を受けないように授業を受ける。

後10分・・・後5分・・・

ああ、早くチャイム鳴れ！！！！早く鳴れよ！！！！

じつと時計を見つめていると、再びあの声が聞こえた。

「おい、後少しなんだから時計ばっか見てないで授業真面目に受けるよ・・・」

ぱつと窓の方を見たが、やはり誰もいない・・・

でも確かに聞こえた。明らかに僕に向かって話しかけている声。

ああ、早く正体を確かめたい！！！！

我慢できずに、もう一度窓の方へ身を乗り出そうとしたとき、ちょうど授業終了のチャイムが鳴った。

「んじゃ、明日漢字のテストするから、きちんと勉強しておくように。一人でも半分以下の点数とったやつがいたら、全員に漢字ノートにやり直しさせるからな。はい、起立。礼。」

そう言ってトマトが教室から出た瞬間、僕はずっと気になって仕方のなかったベランダをのぞいてみた。

01 現れぬ正体（後書き）

初執筆作品。拙い文章かつ突発的衝動により作成開始したので、安定しません。ぐだぐだになる可能性に満ち溢れながらも、友人に脅迫され書き進めております。そんな文書ですが、どうぞ生ぬるい目でご覧下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2576u/>

僕の中の思想家たち

2011年10月9日00時24分発行